



佐賀訪問2年前以上の水害

2021年8月14日(土)、2年前(2019年8月27日)の災害以来、親しくなっている大町町の千綿盛彦さんに電話連絡がとれないので、すぐに神戸国際支縁機構は神戸から向かった。



六角川氾濫 順天堂病院近く 2021年8月15日

神戸でも確認できた情報によると、契約している各戸に電波で防災行政無線で聞いた「矢筈ダム放流」。「午前6時から午前7時の間、えつりゅうする可能性があります。浸水の恐れがある地区のかたは身を守る行動をお願いします。」と4時55分にエリアメール情報を流した。サガテレビも矢筈ダム放流のニュース(午前6時)。国交省によると、推定

約5800ヘクタールが浸水。2年前の水害では孤立した大町町福母(ふくも)の順天堂病院は再び孤立。床上25センチだったが、今回は病棟内1メートル近く浸水。15日夜まで水面に孤立していた。患者らの健康状態に影響はなかった。

一級河川である六角川の氾濫は容易に起こりそうだという不安が的中した。2年前の水害で親しくなった64戸の下湯の千綿盛彦区長をまず訪問した。区長の家は今回の最大の被害地と報道されている佐賀県大町のJR大町駅に隣接していた。「もう2年前の比じゃない」と。

256戸の中島地区の鶴池弘文区長のところへも賀川豊彦が始めたコープ、福祉のパイオニアである今井鎮雄(元神戸YMCA総理事)によってできた神戸市の社会福祉協議会、フードバンクや、「耕支縁」などからの支縁物資や救援金をもっていた。鶴池さんは「浸水ラインも高さ約2メートルに水の跡があった」と、話してくれた。



矢筈ダム放流 2021年8月15日朝
岩村義雄理事長、管理事務所を訪問

が自然災害の元凶である。「伐」とは森林の皆伐・択伐(選択して切り、後樹林を造る)・間伐である。山の手抜きが災害の原因となっている。放置されている山林が日本には386ヘクタールあると林野庁の資料は明らかにしている。日本では樵夫がいなくなっている。伐採するのに機械を山に持ち込む。そのために林道を造る。野生動物の生態、水脈、景観を無視。最深的な問題は伐採後に造林をしないではげ山になってしまう。日本のいたるところで発生する土石流は「人災」である。

大町町の独居の今村佳代子さん宅に行くように依頼され、現在も継続中である。



ヤマザキ

**世界のパン
ヤマザキ**



Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MiYOSHi

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

第20次球磨川ボランティア

2021年10月10・13日稲刈り 熊本支部長 大島健二郎

寒水^{そうず}の梶原将継さん(80歳)から稲穂の縛り方の簡単な方法を伝授してもらった。

昨年、大水害があった熊本県球磨郡で、「復幸米」の稲刈りに園児たちがはじめて参加した。10月12日、秋晴れの下、教室では出せない大きな歓声をあげた。なつめ保育園(緒方眞喜代園長)の年長組を年少組が見学した。

6月に、トロトロ層づくり、田植えをし

相良村の「復幸米」収穫

神戸国際支縁機構 なつめ保育園児も参加

神戸国際支縁機構 相良村川辺松馬場で行われた復幸米の収穫。なつめ保育園児たちも手伝って手刈りした稲を収穫した。



稲刈りを楽しむ園児たち

「復幸米」は、兵庫県の一般社団法人神戸国際支縁機構(岩村義雄理事長)が、東日本大震災の宮城県石巻市など被災地で行っている支援活動の一つ。無農薬栽培や機械を使わずに、稲を刈り取る。石巻市では10回目の稲刈りを迎えている。

同機構は、昨年7月4日の震災当日、被災地に入ってから支援活動に尽力し、この日は20回目の現地入り。家屋、道路、農地などに甚大な被害を受けた村の支援として、地元ボランティア、園児と協力した「復幸米」に

『人吉新聞』(2021年10月15日付)。

た田んぼで、無農薬、有機のヒノヒカリを収穫。ノコカマでサクッと刈り込む。稲刈りを終え、束をかかえて、稲を干す「さおがけ」に吊す。約3週間ほど天日にさらす。すると夜夜露があった稲穂が昼間、太陽によってミネラルが加わる。するとコメの風味、粘り、甘味が増す。

神戸からの9名のメンバーの応援に地元の差し入れや、青井阿蘇神社、相良村役場、山下商事などが応援のため来てくれたことは感謝。相良の復興住宅への戸別訪問にも足取りが軽やかだった。

(一社)神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

●被災地への支縁物資をお願いします。

●年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

●海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同して下さる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年

賛助会員は、一口5,000円/1年

- 郵便振替 口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構
- 三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず「国名」を書き添えてください。

本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日前午10時～
勤労会館4階

岩村義雄セミナー

毎月最終月曜日午後6時半～
ミント神戸17階

rice planting



田植えの
季節に
なりました

『広報 さがら』(2021年8月号)。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』

—2018年12月発行—

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



医療法人社団
湯川胃腸病院

胃腸科・小児科・泌尿科・皮膚科・眼科・耳鼻科・歯科・整形外科・放射線科・検査科・薬剤科・看護科・リハビリテーション科

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号
TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

KINSAN 夢に近づく 夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019



『石巻日日新聞』（2021年10月24日付）

に園児たちがおにぎりを満喫した。今年は、コロナ禍のため自宅で米1合を持ち帰り自分たちの収穫した稲を食べる。

園児たちと稲刈り&脱穀 代表 村上裕隆

第123 次東北ボランティア 脱穀 2021年10月17日～20日

南房総布良で漁ボランティアを経由した。先月稲刈りをした田んぼの天日干しの「復幸米」を園児たちと脱穀。大正時代に全国に普及した足踏み「稲こき機」。現在、ベトナムやネパールでも同じものが用いられている。亀山繁さん、津田新一さんご夫妻が「稲架掛け」の竹や稲干し台の木を預かってくださっている。地域のみなさんご協力があるからこそ、10回目の脱穀ができています。いつもなら収穫祭を11月に行い、独居の高齢者のところへ届ける。会場は、イノシシ肉汁、生のり汁などと共に



『牡鹿新聞』（2021年10月25日付）

宮城県石巻市の10回目の稲刈りに続き、昨年熊本県球磨川水害で被害を受けた相良で園児たちと、1回目のトロトロ層づくり、田植え、稲刈りを楽しんだ。近年、見かけない「稲架掛け」で天日干しの光景である。太陽によるミネラルをいっぱい吸収した、一切、機械によらない農法。今や食糧の自給率は先進国で最低だ。農・林・漁の担い手は平均70歳に近く、引退する人も多い。私たちは被災地の復興の旗印として、「田・山・湾の復活」を掲げて、農・林・漁に取り組んでいる。東北ボランティアの初日は、千葉県南房総布良で漁ボランティアとして沖浦宏隆さんの伊勢エビ漁の網修理に携わった。



『河北新報』（2021年9月25日付）



2020年9月7日 相良教育委員会で岩村理事長と初対面。

略歴 1941年熊本県球磨郡相良村生。1949年九州大学医学部医学科卒業。同年6月医師免許。九大医学部付属病院で研修、熊本大学原田正純師から水俣病と出会う。1971年緒方医院を継承、相良村医、学校医。1979年大腸四頭筋短縮症社会問題となり、自主検診班に参加。1985年社会法人ベートル会、特別義護老人ホーム川辺園開園。1998～2012年球磨郡医師会長。2002年「清流くまがわ・川辺川を未来に手渡す流域都市市民の会」会長、共同代表。2019年「日本医師会赤ひげ大賞」受賞。2020年緒方医院名誉院長。

初代執筆者、神戸国際支縁機構の石巻市支所長である故阿部捷一さん。2代目は、2017年季刊誌『支縁』20号から37号まで連載してくださった阿部和夫さん。3代目は次号からの執筆者、緒方俊一郎さんです（相良村教育長）。

若宮丸乗組員十六名の内、帰国出来たのは四人だけであり、残り十二人はロシアの土となりました。三人は仏教徒のまま、九人はロシア正教徒として死亡。彼等の生き方、行動から皆さんはどんなことを感じ取られたでしょうか。

若宮丸の遭難からロシアのこと、帰国後のことを後の世に伝えた津太夫は、文化十一年（一八一四）七月二十九日に七十歳で亡くなり、最後の一人となった佐平は、文政十二年（一八二九）四月十二日に六十七歳で亡くなりました。

初めて地球を一回りした日本人
『石巻若宮丸物語』 ⑩最終回 阿部 和夫

四人 故郷に帰る

文化三年（一八〇六）二月下旬に、仙台藩からの取り調べを終えた四人は故郷に戻りました。帰った四人を見て、乗組員は亡くなったと思いついた。阿部は「若宮丸遭難供養碑」まで建てたと思いついた。そこに生じた喜びは強烈なものだった。帰国できなかった人達の家族の心情は如何ばかりか。恐らく複雑な心境ではなかったかと筆者は想像しています。

帰国した四人のその後も様々でした。喜び勇んで故郷に戻ったものの、ほぼ一か月後の四月一日に太十郎（長崎で自殺未遂）が三十六歳で病死してしまいました。悲劇的だったのは儀兵衛です。彼はお婿さんで妻も居ました。しかし、遭難死と判断した妻は再婚してしまいました。彼は、半年後の九月三日に病で亡くなりました。享年四十五歳でした。

津太夫と佐平は、帰国後も外交に携わる意義ある仕事をしています。文化三年から四年にかけて北方でロシアからの攻撃がありました。その時、実情調査のため若宮丸乗組員が蝦夷地に派遣されました。二人は呼び出されて松前まで同行されています。恐らくロシアの地を踏んだ二人の証言は貴重なものだったでしょう。

一方ロシアに残った人の内、善六がロシア使節団の一員として日本にやってきました。文化十年（一八一三）八月のことです。日本に幽閉されていたゴロヴニンの釈放交渉に際してロシア側通訳として来日したのです。

若宮丸の遭難からロシアのこと、帰国後のことを後の世に伝えた津太夫は、文化十一年（一八一四）七月二十九日に七十歳で亡くなり、最後の一人となった佐平は、文政十二年（一八二九）四月十二日に六十七歳で亡くなりました。



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマンティファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進
日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑 3 丁目8番12号



事務局便り

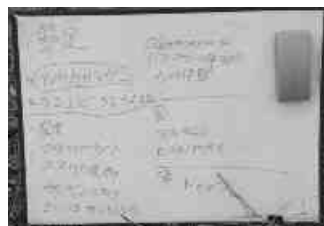
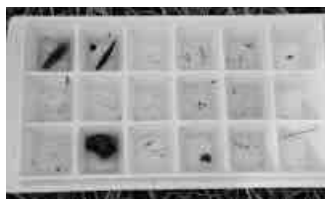
「田・山・湾の復活」(その十七)

私たちは被災地で「復幸米」に取り組み、10年を刻んだ。2011年に、メルトダウン(炉心溶融)により、宮城県にも放射能汚染(セシウム137)が風雨によって飛来した⁵⁴⁾。8月から農法するにあたり、NPO 田んぼや東北大学研究者の協力を得て、田んぼに生息する水中生物など5800種類と言われる自然界の生き物がセシウムにどんな影響を与えるか検証したかった。セシウムは半減期といって⁵⁵⁾シウムの半減期を促進すると誤解していた。水中生物、ひまわり、きのこなどでは完全には消滅しないことが判明した。

「ホット・パーティクル」(不溶性放射性微粒子)は、呼吸、口、傷口などから人間の身体に侵入する。小さな金属微粒子である⁵⁶⁾。「消えてなくなる粒子なのだ」、と研究者、医学者が小児性甲状腺ガンなどの因果関係を裁判所で証言した。しかし、2001年3月1日、福島地方地裁は黙殺した。法の番人が科学的知見を無視した。被告である国や県を擁護した。

ホット・パーティクルも新型コロナウイルスも目に見えない。外出にはマスク着用をしていないと、「自粛警察」と呼ばれる市民からの攻撃対象となろう。しかし、道ばたの砂埃の放射性物質を吸わないようにマスクをすると、「風評被害を招く」としてフクシマでは注意される。コロナ禍による感染はすぐにわかる。一方、ホット・パーティクルの吸入による健康影響が出るのは数年後、数10年後である。

「田・山・湾の復活」の「復活」とは、「復興」が含まれる。田中正造[1841-1913]は、「天災にあらざれば、回復する事を期して去らず」、と言った⁵⁸⁾。人災ならば、大地に生命を戻すことが人間の責任であることを促している。したがって、心の復興だけでなく、治水、地勢、隣人愛が求められる。「隣人」とは、人間だけでなく、無機物、動物、植物、否、地球上のすべてと言えよう。無機物にホット・パーティクルが含まれることは言うまでもない。



第6次東北ボランティア(2011年10月6日)
向井康夫博士は田んぼの生き物検査。

編集後記

相棒の田村晋作さんと農ボランティアに仕える日程を決めるように、岩村義雄理事長から毎回言われる。すると断れないこちらの心理をよく読んでおられる。週一回の炊き出しの責任者とちがって、路上生活の身にとり、4日も神戸を留守にするのには覚悟がある。仲間たちが心配するからである。男性はコロナ禍になってから、車中泊。2台で向かった。本田寿久事務局長や北村恭男さんの運転により、現地に大島健二郎さんたちより早く先に到着。田村さんは田舎育ちだから、天日干し、稲をしぼる「むすで」、家具の修理など器用だから、助かる。現地の人たちが農作業の合間に差し入れをくださる。むしろこちらが感謝な気持ちで満たされている。

炊き出し班長 堀 浩一

54) 福島第一原発事故で放出された放射性物質のうち、農作物や水道水で問題とされている元素は、放射性ヨウ素(I)と放射性セシウム(Cs)。セシウム137の方が問題となる理由は、放射性ヨウ素と比べて寿命が長く、自然に崩壊して半分に減るまでの期間(半減期)が30年と長い。「一般社団法人 日本土壤肥科学会」。

半減期とは、放射能(放射性物質の量)が半分になる期間という意味、セシウム137が約30年、セシウム134が約2年の半減期。ただし、半減期が経過しても放射能がなくなってしまう。放射能とのたたかいを長期化させる要因となっている。

ホテルで例えると、ホテル自身が放射性物質、ホテルから出る光が放射線、ホテルが光を出す性質(能力)が放射能と考えるとわかりやすい。

55) 拙稿「第6次東北ボランティア報告」(神戸国際支縁機構 2011年)。ホット・パーティクルは汗や尿によって体外に出ていかず、沈殿するから危険な放射性粒子。

56) 拙論「女川原発再稼働は科学への裏切り」(神戸新聞会館 2020年)。

57) 「子ども脱被ばく裁判」の会今野寿美雄代表は、「内部被ばくのリスク」を訴える(「阪神宗教者の会」にて、『神戸新聞』2020年10月27日付)。

58) 『田中正造全集』第11巻(田中正造全集編纂会 岩波書店 1979年 456頁)。

救援金、維持会費ご協力を感謝します。 (敬称略)

2021年7月16日～10月16日

岩村義雄, 神戸国際キリスト教会, 鶴崎祥子, 丹野恵子(宮城県石巻市), 柴田珠江(2), 小島千鶴, 大野祐弥, KISO 牧場, 中山喜代子, 神戸聖福教会, 李敬淑(4), 合同会社 Bless 泉真姫(4), 柳澤 豊, 阪井健二(土生神社・矢代寸神社宮司), 永野由美子, 本田すみ代(2), 澁木孝江, 保田 薫, 中道澄春, 飯塚和彦, 沖浦宏隆(千葉県布良), 古本純一郎&佳世子, 森田美芽, 日本自由メソヂスト葛城キリスト教会, 朝倉龍男(3), 佐々木美和(3), 千田豊穂(宮城県石巻市光厳寺住職), 河内常男, 宮坂信章, 兵頭晴喜, 岡部 徹, 恵姫, 宮本博美, 森川八郎, 石井泰代, 東原良学(2), 太田登志(4), 木村襲治(宮城県石巻市), 岩崎 謙, 飛田雄一, 藤野知香, 高橋秀典, 東灘バプテスト教会, 大槻紀夫, 栗原 健(宮城県仙台市), 藤本新作, 金 恒勝, 横田早紀江, 酒巻美和子, 的野慶子, 西田祥子, 加藤恵子, 宝塚栄光教会, 岩間 洋&千恵子, 大河戸章代, 井上有希, 山下恵美子, 豊原大成[全国仏教会前理事長], 藤原加寿子, 桜井ジュンコ, 津久井 進, 林 ナオ, 湯川胃腸病院, 神戸YMCA 井上真二, 土手ゆき子&朋, 小笠原貞夫, 笠原美恵子, 武智 務, 今井奈緒子(宮城県仙台市), 廣森勝久, 野崎和子, 袴田清子, 千葉幸一(宮城県石巻市), 廣瀬素子(2), 菊部真砂子, 古川直子, 和子, 高 祐二, 「小さくされた人々のための福音」講座(2), 原 浩司(2), 緒方俊一郎(熊本県相良), 東原良学, 村上安世, 樋口 進, 伊藤直樹, 伊藤ヨシ子(茨城県日光市), 大島健二郎(2), 有井英俊, 荒木幸子, 佐藤紀子(宮城県多賀市), 野口裕利, 水谷弥生, 中山圭子(2), 後藤由美子(光円寺僧侶), 太田妙子, 福井啓子, 最近有紀, 石巻地区森林組合, 尾関マユミ, 藤丸秀浄(法専寺住職), 野田健二, 上越北陸アイクリニック, 矢口裕基, 池田裕子, 大田正紀, 今井祝雄, 千葉博男(前宮城県神社庁長), 徳留由美, 池口美喜子, 川口陽子, ホームチャペル・キリストの花嫁, 袴田康裕, 原田洋子, 弘前学院聖愛中学高等学校, 森本拳士朗, 藤井真代, 『AIC』(ローマ・カトリック教会), 匿名

817,249 円

支縁物資の提供者 敬称略

コープこうべ, フードバンク関西, 「耕支縁」, 梅澤昌子, 山内満千子(熊本県相良), 丸目 寧(熊本県相良), 緒方真喜代(熊本県相良), 緒方礼子(熊本県相良), 野田健二, 山口 光, 村上安世, 梶原みどり(福岡県松末), 千綿盛彦夫妻(佐賀県大町町), 袴田清子, 山本 稔, 東垂水ルテル教会, コープの中塚伸治, 鳥飼酒造から鳥飼アイス, (株)チュチュアンナから靴下, 丹野恵子(宮城県石巻市), 齋藤正美(石巻市長), 丹野典彦(宮城県石巻市), 新堀隆義&美恵子夫妻(南房総市), 神戸市社会福祉協議会。



今年も神戸国際支縁機構は「石巻わんぱく相撲選手権大会」の協賛。